

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立豊岡中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 440-0832

愛知県豊橋市中岩田一丁目5番地2

E-mail toyooka-j@toyohashi.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 239名 女子 249名 合計 488名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、「自立・友愛・創造」を学校理念として、ESDを「地域とのかかわりの中で継続可能な社会づくりへ貢献していくもの」と捉え、ESDの実践を通して責任をもち、すすんで行動する力や自ら学び考える力の育成を目標とした。本校の伝統である「あいさつ・歌・ボランティア」。その中の一つに、徒会役員が中心となって行うホリデーボランティア(ホリボラ)と挨拶ボランティア(あいボラ)というものがある。

① ホリデーボランティア活動

ホリボラについては、以前は公園清掃だけであったが、現在は公園清掃が4回、小学校防災訓練での手伝いボランティアが1回、小学校運動会および小学校区の運動会の手伝いボランティアが2回、「トイレ掃除に学ぶ会」の方の指導のもとで学校のトイレ掃除をする活動が1回、PTAバザーの準備・手伝いが1回と多岐にわたるようになった。公園清掃は校区内の11の公園を学年混合の班に分かれて掃除をする。落ち葉集めや草取り、トイレ掃除などが主な活動である。

班編成から清掃道具の準備、当日のはじめの会・終わりの会まで生徒会役員が中心になって行う。本年度行われた第5回ホリボラは、延べ216名の生徒が参加した。こうした取り組みは、愛知県のESD担当者の間でも優良活動として認知されている。また、本年度は、「豊岡から発信する持続可能な地域づくり」というテーマで3年生の社会科授業でも取り上げている。運動会の手伝いについても、小学校や校区の方から「本当に助かっている」という声を多くいただいている。地域の人と地域のために活動することで、地域を愛する心や「地域をよくしたい」と思う心が育ってきている。



②挨拶ボランティア

あいボラは、平成27年度から「挨拶も盛り上げよう」という思いで生徒会役員が中心となってはじめた。毎朝、有志で校門付近に立ち、生徒や地域の方に挨拶をしている。中には、野球部や吹奏楽部など部活の仲間に参加を呼びかけ、部活動単位で活動している生徒もいる。毎朝学校の前を通る地域の方からは、「朝から元気な声で挨拶をされると気持ちがいい」という声をいただいている。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 休日や始業前)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

特になし

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校では、生徒会役員を中心に生徒主体でボランティア活動に取り組んでいる。全校生徒による生徒総会でどうしたら参加者を増やせるかを考え、今年度から申込用紙に複数名の名前を書く欄をもうけ、友達と一緒に気軽に参加できるようにした。その結果、友達に誘われて初めて参加する人が増えた。ボランティアを一度経験すれば、人のために働くことのやりがい気づけるだろう。その価値にまずは多くの人に触れてもらいたいという考えのもと、さまざまな方法で参加者を募っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校と地域がつながることで、持続可能な地域社会づくりが実現できると考える。学校での避難訓練や防災指導だけでなく、地域の方とともに地域で防災活動を行うことで、地域の防災リーダーを育てたい。

また、今行われている公園清掃や運動会ボランティアが、10年後、20年後も継続して行われる価値ある活動になるために、今後具体的な手だてを見出していきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

2017年11月、豊橋ユネスココンクールが愛知大学豊橋校舎で開催された。大勢のESD担当が集まる場では、生徒会役員が3週間かけて制作したポスターを掲示した。ポスターの内容は、豊岡中学校の3本柱である「あいさつ・歌・ボランティア」の取り組みである。本校の取り組みは、多くの方に評価され、第37回手作り・学級新聞コンクールで特選をいただいた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

年に1回、2年生では職場体験学習を実施し、働くことの意義や社会のしくみを学ぶ機会としている。生徒の多くは、飲食店やサービス業、医療施設をはじめとする職場で4日間働くことを経験する。また、ビジネスパークという、いくつかの地元企業を講師に招き、どのような仕事をしているのかを学ぶ機会もある。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

全校生徒488名のうち、約15%が日本語指導の必要な生徒である。国籍については、以前はブラジルが多かったが、ここ2~3年ほどでフィリピンが増え、60%以上がフィリピン国籍という状況に変化してきた。外国籍生徒指導の先進校として、東京都や島根県の教育関係者が視察に来るなど、開かれた学校教育を行っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

特になし

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

16年続く伝統あるホリデーボランティアを、今後さらに活発にしていくと同時に、まだ3年目の挨拶ボランティアをどのように多くの生徒に認知させていくのかを、生徒会執行部が中心になり協議を進めていきたい。
また、校区運動会や防災訓練など、地域とともに活動する機会は生徒にとって大きな価値のある活動だと捉える。そのために、今後、より地域の方とかかわる機会を設ける具体策を、学校全体で考えていくことが課題である。